

瑞穂市第2次総合計画策定に向けた市民アンケート【案】

瑞穂市では、市のあるべき姿、今後のまちづくりの方向性を示す「瑞穂市第2次総合計画」を平成27年度に策定する予定をしております。

このアンケートは、新たな総合計画の策定にあたり、これからのまちづくりを市民の皆さんと共に考え共に実践していくため、市民の皆さんの意見を幅広くお伺いし、計画策定に反映させていくことを目的として実施するものです。

まちの未来をつくるため、あなたの声をお聞かせいただきますよう是非ともご協力をお願いいたします。

I あなた自身のことについておたずねします。

(該当する番号に○を付けてください。)

(1) 性別	1. 男性 2. 女性
(2) 年齢	1. 18歳～29歳 2. 30歳～39歳 3. 40歳～49歳 4. 50歳～59歳 5. 60歳～69歳 6. 70歳以上
(3) 家族構成	1. 単身世帯 2. 夫婦のみの世帯 3. 親と子の二世帯世帯 4. 親・子・孫の三世帯世帯 5. その他()
(4) 職業	1. 農業 2. 自営業 3. 会社員・公務員・団体職員 4. パート・アルバイト 5. 専業主婦(主夫) 6. 無職 7. 学生 8. その他()
(5) 居住年数	1. 5年未満 2. 5年～9年 3. 10年～19年 4. 20年～29年 5. 30年以上 【市外から転入された方におたずねします。】 ■ 転入前の居住地について下記の1. 2. から選んで○を付け、居住地名等をご記入ください。 1. 県 内(市町村名) 2. 岐阜県以外(県) ■ 転入される以前にも瑞穂市に居住していたことがありますか？ 1. あ る 2. な い
(6) 居住地 (小学校区)	1. 生津小学校区(馬場、生津) 2. 本田小学校区(本田、只越) 3. 穂積小学校区(別府、穂積、稲里) 4. 牛牧小学校区(十九条、牛牧、野田新田、野白新田、宝江、祖父江) 5. 西小学校区(七崎、居倉、森、田之上、唐栗、宮田、大月) 6. 中小小学校区(重里、美江寺、十七条、十八条) 7. 南小学校区(古橋、横屋、中宮、呂久)

Ⅱ 市への愛着・定住意向

問1 あなたは、瑞穂市に愛着をどの程度感じていますか？
 (あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

1. 愛着を感じている
2. やや感じている
3. あまり感じていない
4. 感じていない

問2 あなたは、これからもずっと瑞穂市に住み続けたいと思いますか？
 (あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

問3へ	1. いつまでも住み続けたい
	2. 当分住み続けたい
問4へ	3. できれば他市町へ移住したい
	4. すぐにでも他市町へ移住したい
	5. わからない

問3 瑞穂市に住み続けたいと思う主な理由は何ですか？ (あてはまる番号を2つまで選んで○を付けてください。)	問4 瑞穂市に住み続けたいと思わない主な理由は何ですか？ (あてはまる番号を2つまで選んで○を付けてください。)
1. 自然が多くまちの環境が良い	1. 自然が少なくまちの環境がよいくない
2. 歴史・文化を感じる	2. 歴史・文化を感じない
3. 交通の便が良い	3. 交通の便がよいくない
4. 買い物や外食が便利	4. 買い物や外食が不便
5. 趣味や娯楽を楽しめる場が充実している	5. 趣味や娯楽を楽しめる場が充実していない
6. 医療・福祉・介護サービスが充実している	6. 医療・福祉・介護サービスが充実していない
7. 子育てがしやすい環境が充実している	7. 子育てがしやすい環境が充実していない
8. 近所づきあいや人間関係が良好	8. 近所づきあいや人間関係がよいくない
9. 災害や犯罪が少ない	9. 災害や犯罪が起こる危険性が高い
10. 学校や仕事、家族の都合	10. 学校や仕事、家族の都合
11. 子どもの教育環境が充実している	11. 子どもの教育環境が充実していない
12. 住み慣れていて愛着がある	12. まちに愛着がない
13・その他（ ）	13・その他（ ）

Ⅲ 今後の暮らしについて

問5 瑞穂市の「今後10年間のまちづくり」において特に重点的に取り組むべきだと思うものは何ですか？（あてはまる番号を3つまで選んで○を付けてください。）

1. 防災対策
2. 機能的な都市空間の創出（駅周辺のまちづくりなど）
3. 道路・公園・下水道などの公共インフラ整備
4. 観光の振興
5. 商工業の振興
6. 農業の振興
7. 医療・福祉・介護の充実
8. 高齢者対策
9. 子育て支援策
10. 保健サービスの充実
11. 自然環境・景観の保全
12. 学校教育の充実
13. 歴史文化の保存・継承
14. 生涯学習の充実
15. 国際交流の推進
16. 地域コミュニティの活性化
17. 公共交通（鉄道・バスなど）の充実
18. 行財政の健全化
19. 市民参画や協働の取組
20. その他（ ）

問6 上記問5で選んだ項目番号について、具体的なご提案やご意見などがあればご記入ください。

項目番号	具体的なご提案・ご意見

Ⅳ 行政サービスについてー①

問7 市の財政状況が厳しくなる中、これからの行政サービスの水準と市民負担のあり方についてどう思われますか？

(あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

1. 市民の負担（例：税金、次世代への借金）が増えたとしても、行政サービスの維持・充実を優先すべき
2. 行政サービスの種類によっては、サービスを受け入れる人の負担（例：公共施設の利用料金等）が増えることはやむをえない
3. 行政サービスの維持・充実よりも、市民の負担を増やさないことを優先すべき
4. わからない
5. その他（ ）

問8 公共施設（市役所庁舎、学校、公民館などのいわゆるハコモノ）についておたずねします。福祉や医療、子育てなど、将来に向けて必要な行政サービスを維持するうえで、今後の瑞穂市の公共施設のあり方についてあなたのお考えに近いのはどれですか？（あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

1. 公共施設は減らすよりも、増やしていくべき
2. 公共施設は維持すべきであるが、そのためなら民間への委託などを行い、施設使用料が現在より高くなっても仕方ない
3. 公共施設は必要であり、施設使用料の増額は行わず、税金で維持すべき
4. 老朽化した施設や重複する施設などの廃止や統合、用途の転換を行い、経費を減らすべき
5. その他（ ）

Ⅳ 行政サービスについて②

問 9 合併して 12 年が経過しましたが、公共施設の中でも同じ機能を持った施設（重複施設、例えば市役所・図書館・公民館など）が複数あります。

建物など老朽化に伴う維持・管理・更新（改修を含む）などにかかる将来負担を考慮した上で、このような重複施設についてどう思いますか？

（あてはまる番号を 1 つ 選んで○を付けてください。）

1. 積極的に廃止や統合をする必要がある
2. 維持・管理などにかかる経費を削減し、廃止や統合はまだ考えない
3. 利用状況を調査した上で、廃止や統合を考えるべき
4. 現状のままだが望ましいが、維持・管理・更新などにかかる将来負担が増加するのであれば、廃止や統合を考えるべき
5. わからない
6. その他（ ）

問 10 瑞穂市の人口は微増傾向にありますが、いずれ人口減少、少子高齢化に移行するものと推測されます。瑞穂市のインフラ（道路や上下水道、公共交通）について、将来に向けて必要な行政サービスを維持するうえで、今後の本市のインフラのあり方についてあなたのお考えに近いのはどれですか？

（あてはまる番号を 1 つ 選んで○を付けてください。）

1. インフラの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない。利用料による負担や税金の負担が高くなっても仕方ない
2. インフラの維持・更新費は、サービス水準を多少下げてでも税収に合わせて減らしていくべき
3. わからない
4. その他（ ）

✓ 土地利用について

問 11 市全体の土地利用の仕方についてどう思いますか？
（あてはまる番号を2つまで選んで○を付けてください。）

1. 買い物や食事、娯楽などを楽しめる場が少ない
2. 働く場や地域経済を支える工場・事業所が少ない
3. 新たに整備された住宅用地が少ない
4. 公園などの憩いの場が少ない
5. 子育て・医療・福祉など、暮らしに欠かせない生活利便施設が少ない
6. 交通基盤を生かせていない
7. 農業基盤の整備が不十分
8. 優れた景観や歴史文化を生かせていない
9. 空地や未利用地が多い
10. 住宅・工場・農地などが混在している
11. わからない
12. その他（ ）

問 12 今後、市の活性化に必要と考える土地利用は何だと思われますか？
（あてはまる番号を2つまで選んで○を付けてください。）

1. 穂積駅周辺のにぎわいを創出する
2. 大規模な区画での開発を進める
3. 空地や未利用地などの有効利用を促進する
4. 道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する
5. 優良な農地の積極的な整備や耕作放棄地の解消を図る
6. 幹線道路沿いの商業機能等の立地を促す
7. 緑や自然を生かしたふれあいや交流の場の整備を図る
8. 生活関連施設が集約したコンパクトなまちづくりを進める
9. 既存の農地や緑地はできるだけ保全し、新たな開発は抑制する
10. 歴史文化を活かした特色ある住環境の整備を進める
11. 現在のままでよい
12. その他（ ）

人口政策の方向性について

問 13 瑞穂市では、現在も人口の増加傾向が続いていますが、日本全体の人口が減少するなかで、瑞穂市の人口政策について、次のうちどの考え方が重要だと思いますか？
(あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

1. 他の政策よりも、人口を増加させることを優先して財源を集中すべき
2. 他の政策も考慮しつつ、一定の対策を講じて、人口減少対策を実施すべき
3. 人口が減少しても住みよいまちをつくることに努めるべき
4. 瑞穂市の人口は減少していないので、当面は他の政策を優先すべき
5. わからない
6. その他（ ）

問 14 国では、急速な少子高齢化の進展による人口減少問題に対応していくための国家戦略（「まち・ひと・しごと総合戦略」※）の作成が進められており、瑞穂市においも「人口ビジョン」や「地方版総合戦略」を策定することが求められています。

この「まち・ひと・しごと総合戦略」として瑞穂市が取り組むべきだと思う施策は何だと思われますか？

(あてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。)

1. 子育てしやすい環境を整備・充実する施策
2. 企業誘致、農業等地場産業振興など地域の雇用創出に関する施策
3. 近隣市町との連携を強化するなど広域的な行政施策
4. 結婚・妊娠・出産などに関する総合的な施策
5. 市内大学との連携、若者の就業支援など若者の定着に関する施策
6. 駅前のにぎわい拠点、多世代交流拠点の形成に関する施策
7. その他（ ）

※「まち・ひと・しごと総合戦略」は、人口減少問題を克服するため、時代にあった地域をつくり、地方における安定した雇用を創出し、東京圏から地方への新しいひとの流れをつくり、若い世代の結婚・出産・育児の希望をかなえることを実現していくための国の総合戦略で、2015年～2019年までの5ヶ年が取り組み期間になります。

問 15 瑞穂市の将来や、これからのまちづくりに関するご意見、アイディアなど自由に記入してください。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

